



映像部門



- ① さつま町
- ② ウェルカムピーポーさつま町
- ③ 5分13秒
- ④ さつま町 総合政策課

①市町村名 ②作品名
③収録時間 ④担当課

講評

企画

- ・まず歌が素晴らしい。さつま町の魅力が詰め込まれていて、かつみんなが口ずさみ、踊りたくなりそうな曲だ。総勢450人も町民がダンスで出演していて、それだけで町の魅力が伝わり、一体感も生まれそうだ。
- ・特産品や名所を歌とダンスで紹介するという、一歩間違えば“痛く”なる企画だが、県外の方に気を遣わず方言を押し通し、「ないごてきてくれんのけ？」と自虐する歌が秀逸。ジワジワくる。くせになる。

表現構成

- ・歌に合わせて町民が次々とダンスをしていくといういたってシンプルな構成だが、様々な町民の方々が登場し、それがさつま町の魅力のPRになっていて、印象に残る映像だった。
- ・映像はダンスのカットも重ね、温泉ブロックも1番2番で内湯・外湯と変える何気ないこだわり。最後の盛り上がりには银杏坂のキレイなドローン+さつまるちゃんがくる構成も素晴らしい。参加者の笑顔を振り返る最後のマルチ画面も好印象。

視覚的効果

- ・ひたすらダンス映像をつないでいるだけではあるのだが、大人数のダンスではドリー映像や俯瞰の映像を入れて見せる工夫をしていたし、ダンスを覚えたい人のために、右下に常時、高校生の模範ダンスの映像を入れていたのもよかった。
- ・地図アプリのピンのような地図テロップ飾りなど、くすっと笑える遊びも楽しい。



令和6年度 鹿児島県広報コンクール

映像部門



- ① 鹿屋市
- ② かのやで暮らす - LIFE in KANOYA CITY -
- ③ 3分49秒
- ④ 鹿屋市 政策推進課

- ①市町村名 ②作品名
③収録時間
④担当課

講評

企画

- ・移住者から見た鹿屋市の魅力という視点・アイデアは良い。ただ、Youtubeの見出しには「移住PR動画」とある。他の地域の方に移住を呼びかけたVTRであるなら、仕事はあるのかなど、移住の際に気になる点についても触れてほしかった。
- ・「移住者の声」という意味ではありがちかもしれないが、インタビューした方々の年代・性別も様々で、オシャレに鹿屋をPRしようという企画意図が感じられた。

表現構成

- ・人の温かさ、自然環境、食べ物のおいしさ・安さについて複数の移住者が様々な角度から絶賛するという内容の繰り返しで、シンプルでわかりやすいが、単調に陥りがちな構成だった。
- ・「移住者の声」がテンポよく構成されている。インタビューカットだけでなく、その人にまつわる動きある映像もあり、BGMに合わせた編集で飽きることがない。

視覚的効果

- ・移住者への正面からのインタビューが基本で、時折景色などのインサートが入る映像構成。ドローン撮影による風景の映像はきれいだったのでもっと見たかった。他のテーマである、地元の人とのふれあいや、食べ物についても映像で見せてほしかった。
- ・一眼、ドローンといった機材を利用し、効果的な映像制作。人／背景のサイズ感も◎。テロップも最小限の飾り(シンプル)で好印象。

その他

- ・ロケ場所によっては、PRの意味でも地名等あってもよかったか。食べ物のインサート映像、入れるならきっちり入れても。